

## 吃る子どもを助ける7つの方法

バリー・ギターPhD、エドワード・G・コントュアーPhD

1. 子どもと話すときは、あわてずに頻繁に間を取りながら話してください。あなたが話しかける時は、子どもが話し終えてから少し間を置いて話し始めてください。あなた自身、ゆっくりとリラックスして話すことは、子どもの話し方を注意したり、「ゆっくり話さない」や「あわてずにもう一度言ってごらん」とアドバイスするより、よほど効果があります。
2. 子どもに質問する回数を減らしなさい。子どもは大人の質問に答えるよりも、自分の言いたいことを言おうとしている時のほうが、より自由に話します。質問する代わりに、子どもが話したことに対して簡単にコメントすることによって、子どもはあなたがしっかりと聞いてくれていることが分かります。
3. 子どもの話す内容を聞いているのであって、話し方を聞いているのではないということ子どもに伝えるために、顔の表情を豊かにし、ボディー・ラングエッジを使いましょう。
4. 子どもに集中して関わるができる時を、毎日数分間だけでも作りましょう。その間は、子どもに好きなようにさせてください。大人が指示するのではなく、話すかどうかは子どもに決めさせてください。あなたが話すときは、ゆっくり穏やかに、間を十分に取って、リラックスして話してください。この静かで穏やかな時間に、子どもが、親であるあなたが子どもと一緒にいる時間を楽しんでいるということを知ることによって、子どもは自分に自信を持つことができるようになります。
5. 家族の全員が、子どもと交互に話したり聞いたりできるのを学ぶように、助けてあげてください。子どもたち、特に吃る子どもは、さえぎられることなく、みんなに聞いてもらえるときは、ずっと楽に話すことができます。
6. 子どもと関わる方法に注意を払いましょう。子どもの話すことをしっかりと聞き、しかも時間は十分にあることを、なるべく子どもに伝えるようにしましょう。批判したり、急いで話したり、さえぎったり、質問することは、なるべく控えるようにしましょう。
7. 一番大事なのは、子どもたちに、そのままのあなたが大好きだ、ということ伝えることです。吃る、吃らないに関わらず、子どもを支えるということが、子どもにとって一番



A Nonprofit Organization  
Since 1947—Helping Those Who Stutter

1-800-992-9392

www.stutteringhelp.org  
www.tartamudez.org